

産科医等確保支援事業費補助金
交付申請補助表(①分娩手当等)

申請書とともに
提出してください。

産科医等確保支援事業費補助金の申請に当たっては、当該年度の見込分娩件数を見込んだ上で申請をいただいております。

事業開始以降、見込みと実績が大幅にずれていたり、変更交付申請がなされていないケースが散見されますので、申請に必要な年間の分娩件数を適切に見込むために、本表を作成してください。

なお、申請書の作成に当たっては、本表により算出された分娩件数を必ずしも用いる必要はありませんので、本表とは別の方法で正確な分娩件数が見込める場合には、その件数を記載してください。

1 令和4年度分娩実績

(分娩手当等の支給対象となる分娩件数に限る。)

4月～8月実績合計

 $\times \quad 12/5 \quad =$

単位：件
R4見込

A

2 過去3年の分娩実績件数の平均

(分娩手当等の支給対象となる分娩件数に限る。)

R元年度	R2年度	R3年度	合計

 $\div 3 =$

単位：件
3年平均

B

注意：開設から3年を経過していない場合は、過去2年又は1年の平均値としてください。

3 令和4年度見込み

AとBを比較し、いずれか大きい数

--

件
→
申請書作成時の参考数字としてください。

<参考>

産科医等確保支援事業費補助金の補助制度(概要)

一分娩あたりの一般的な分娩費用(入院から退院まで)が55万円未満の施設を対象に、就労規則等に定められた分娩手当(又は同様の手当)を支給している場合、一分娩あたり一万円を基準とし、基準額と実際に要した費用を比較して、少ない額の1/3を補助することとしています。

制度の詳細については、補助金交付要綱をご確認ください。

産科医等確保支援事業費補助金 交付申請補助表(②帝王切開手当等)

帝王切開手当等の補助事業を申請する場合に作成し、
申請書とともに提出してください。

産科医等確保支援事業費補助金の申請に当たっては、当該年度の分娩件数を見込んだ上で申請をいただいております。

事業開始以降、見込みと実績が大幅にずれていたり、変更交付申請がなされていないケースが散見されますので、申請に必要な年間の分娩件数を適切に見込むために、本表を作成してください。

なお、申請書の作成に当たっては、本表により算出された分娩件数を必ずしも用いる必要はありませんので、**本表とは別の方法で正確な分娩件数が見込める場合には、その件数を記載してください。**

1 令和4年度帝王切開実績

(帝王切開手当等の支給対象となる帝王切開件数に限る。)

4月～8月実績合計	×	12 / 5	=	R4見込	A

単位：件

2 過去3年の帝王切開実績件数の平均

(帝王切開手当等の支給対象となる帝王切開件数に限る。)

R元年度	R2年度	R3年度	合計	÷ 3 =	3年平均	B

単位：件

注意：開設から3年を経過していない場合は、過去2年又は1年の平均値としてください。

3 令和4年度見込み

AとBを比較し、**いずれか大きい数**

件 → 申請書作成時の参考数字としてください。

<参考>

産科医等確保支援事業費補助金の補助制度(概要)

一分娩あたりの一般的な分娩費用(入院から退院まで)が55万円未満の施設を対象に、就労規則等に定められた分娩手当(又は同様の手当)に加算して帝王切開手当(又は同様の手当)を支給している場合、一帝王切開ごと従事した医師一人あたり一万円を基準とし、基準額と実際に要した費用を比較して、少ない額の1/3を補助することとしています。

制度の詳細については、補助金交付要綱をご確認ください。